

## 為替リスクを抑えつつ、海外顧客の発注に迅速に対応

奈良県生駒市の株式会社MST コーポレーション(従業員220名、資本金7,000万円)は、ツーリング(工具保持具)やその周辺機器の開発、製造、販売を行っている。ツーリングとは、金属加工を行う際にドリルなどの切削工具を工作機械に固定するもので、強固な把握力、精度の高さ、耐久性などが要求される。同社は、ツーリングの先端を熱膨張させて切削工具を挿入し、その後冷却することで先端が収縮し、切削工具を強固に固定する「焼きばめ式」のツーリングで、国内外トップの市場シェアを有している。

同社の製品は精密加工に不可欠なものと認識されており、海外からの引き合いも多く、同社は世界の各地に製品を輸出している。最近の円高が同社の輸出に及ぼす影響については、欧州を除き、取引を円建てで行っていることから、直接的な為替差損は小さいものの、円高に伴い価格競争力への影響が出てきている。そこで、海外に生産拠点をもちない同社では、提携先の倉庫を利用してアメリカのシカゴ、ドイツのニュルンベルク、シンガポール、香港に在庫センターを設立し、現地顧客の発注に迅速に対応することで、円高による価格競争力の低下を補っている。さらに、現地に一定程度の在庫を確保することで、急激な為替変動の影響を吸収しようとしている。同社は、今後は中国の上海にも在庫センターを開設する予定であり、価格競争力と顧客ニーズへの迅速な対応のバランスをとりながら、積極的な海外展開を実現しようと努力している。

